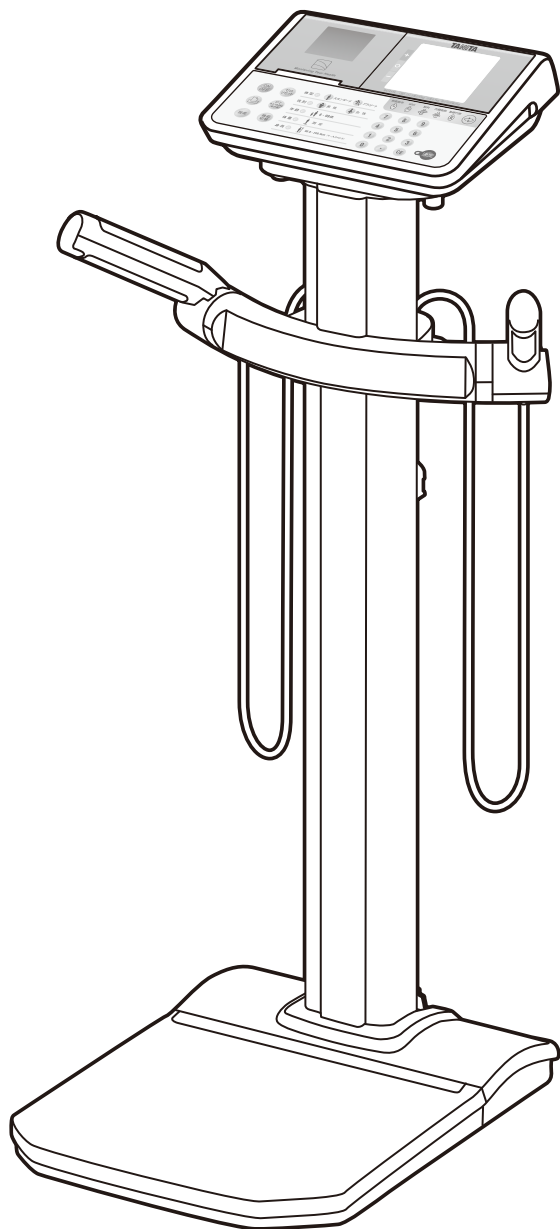


取扱説明書

デュアル周波数体組成計 DC-13C



※本書に記載されているイラストはイメージ図です。

もくじ

ご使用まえに	
安全上のご注意	2
お願い	4
各部の名称と付属品	6
電源の接続／マットのセット	8
プリンター用紙のセット	9

使いかた

いろいろな設定	10
はかりかた(体組成計として使う)	18
はかりかた(体重計として使う)	21

必要なとき

パソコンと接続するとき	22
故障かな?	24
製品仕様	26
重力補正について	27
アフターサービスについて	28

お願い

誤った使い方をしますと、重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。また、必要な時にはすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

本機はデュアル周波数測定方式を採用し、さらにリアクタンス測定機能を搭載しています。この最新テクノロジーにより、細胞レベルの変化、個人差を反映した分析が可能になり、体脂肪率、筋肉量、体水分量などの体組成を、より高精度に算出することができます。

安全上のご注意

必ずお守りください

本書では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただきたいことを次のように説明しています。本文をよくお読みいただき、本機を正しく安全にお使いください。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負うおそれのある」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うおそれまたは物的損害が発生するおそれのある」内容です。



禁止

してはいけない「禁止」内容です。



必ず守る

「必ず守っていただく強制」内容です。

お願い

本機を最良の状態を保つために守っていただきたい内容です。

お知らせ

本機の使用・点検に関連して、お客様に知っていただきたい補足事項です。

警告

体組成測定時、ペースメーカー等、
医用電気機器装着者は絶対使用しない



禁止



本機は、微弱な電流を体内に流しますので、医用電気機器が誤動作し、重大な事故発生の原因になります。

タイル面やぬれた床など、すべりやすい
所には絶対に置かない



禁止

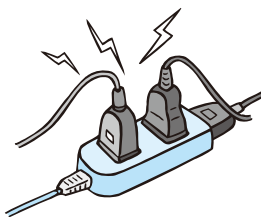


転倒したり、すべったりして、大けがをするおそれがあります。また、本機内部に水が入り、故障の原因になります。

タコ足配線をしない



禁止



火災のおそれがあります。

分解や改造は絶対にしない



禁止



感電やけがのおそれがあります。また、精度の保証ができません。

濡れた手で
プラグを抜き差ししない



禁止



感電や、火災・漏電の原因となります。

■測定結果の評価や、それに基づく運動メニュー等は、自己判断しない

必ず医師、または資格を持った専門家の指示に従ってください。

■からだの不自由な方がご使用になるときは、1人で測定させない

付き添いの方がサポートしてください。

■水回りなど、本機がぬれるおそれがある場所では使用しない

本機が故障するおそれがあります。

■感染予防

手足等の本機に直接触れる部位に傷や炎症がある場合は使用しないでください。感染症のおそれがあります。

■電源コード差し込み口に触れない

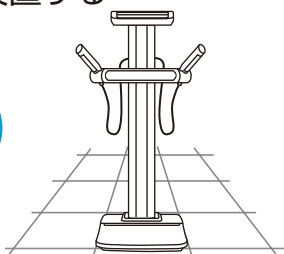
電源コードを外した直後は、電源コード差し込み口に触れないでください。感電のおそれがあります。

⚠ 注意

安定のよい、硬く、水平な場所に設置する



強制



転倒してけがをしたり、測定できない場合があります。

絶対に飛び乗らない



禁止



転倒してけがをするおそれがあります。

絶対に寄りかからない



禁止



転倒してけがをするおそれがあります。

■本機の間隙や穴に指を入れない

けがをするおそれがあります。

■測定の前に、電極板とその周辺部を消毒用アルコールで拭く

病気感染のおそれがあります。

■電波障害を受けやすい電子機器等は、本機からの電波障害がないことを確認して使用する

本機はクラスB情報技術装置(主に家庭環境で使用されることを意図した装置)の基準およびCE(欧州EMC指令)に対応していますが、弱い機器の場合は影響を受けるおそれがあります。

■機器の併用はしない

本機で測定中に、他の機器の測定は行わないでください。(例えば、体組成の測定中に、血圧測定を行うなど) 正確な測定ができない場合や、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■金属アレルギーのある方は使用しない

本機の電極でアレルギー反応が出るおそれがあります。

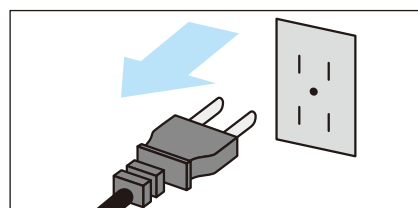
■持ち運ぶときや収納するとき

- 下部の補助脚が収納されていることを確認する。
- 本体を傾け、キャスターで移動する。
- 無理に持ち上げようとすると、腰を痛めるおそれがあります。
- 移動時は本体に衝撃を与えないよう、やさしく丁寧に扱う。
- 移動時に人や物を載せない。
- キャスターで屋外を移動しない。屋内の移動を想定したキャスターのため、故障の原因となることがあります。
- 測定台の樹脂カバー部分を持って運ばない。

緊急停止

緊急時に備え、本機操作の間はコンセントの周りに物を置かないでください。

緊急時はコンセントから電源プラグを引き抜いてください。



お願い

正確にはかるために

激しい運動をした後は、
測定を避ける



禁止



測定値に誤差を生じるおそれがあります。充分休んでから、測定してください。

温度変化の激しい場所では
測定しない



禁止



測定値に誤差を生じるおそれがあります。20℃以上の温度差がある場所に移動するような場合は、2時間以上放置してからご使用ください。

過度の飲食、極度の脱水症
状のときは、測定を避ける



禁止



体内の水分変化や体温に大きく影響されるので、測定前に排尿をするなど毎日同じ時間・条件で測定してください。

■ 電磁波を発生する機器の近くでは使用しない

照明器具・医療用機器・通信機器（インバーター蛍光灯・マイクロ波治療器・携帯電話）などの一部の機器とは干渉して誤動作するおそれがありますので、事前に確認の上ご使用ください。

■ 変化の推移を見る場合は、できるだけ同じ条件で測定する

測定値に誤差が生じるおそれがあります。測定精度を高めるには、起床後3時間以上、食後3時間以上経過した同じ時間帯でご使用ください。

■ 手のひらや指を電極部に正しく合わせて測定する

電極と手の接触不良の場合、体脂肪率が低く表示されたり、「Error」（エラー）が表示される場合があります。

■ 手のひらの汚れを落としてから測定する

手のひらにほこりなどがついていると、正確に測定できません。

■ ひじを曲げたり、座ったまま測定しない

正確に測定できません。

■ 測定中は動かない

測定中に動くと、正確に測定できません。

■ わきがくっつかないように測定する

わきがくっついてしまう場合は、乾いたタオルなどをはさんで測定してください。

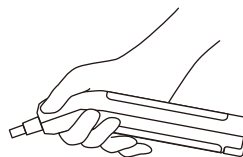
間違った測定のしかた



ひじが曲がっている



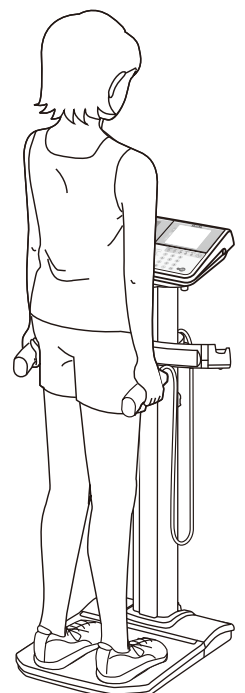
わきや腕の肌と肌が触れている



すべての指が電極にかかっていない

次のような方は、参考値として変化の推移をみられることをおすすめします。

- ・人工透析中の方、むくみの症状がある方
- ・体内に金属を埋め込んでいる方
- ・妊娠中の方



精度を保つために

本機は、精密に作られています。最良の状態を保つために、次のことを守り、ご使用ください。

設置について

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く、または空調機の風が直接当たる所には置かない
- 温度変化の激しい場所には置かない
- 湿気の多い場所や水気のある所には置かない
- 振動の激しい所には置かない
- 化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に放置しない
- 塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれのある場所には置かない
- 電源の周波数と電圧および許容電流値(または消費電力)に注意すること
- 高酸素濃度、可燃性麻醉ガス内には置かない

取扱いについて

- 絶対に、水洗いはしない
- 過度の衝撃や振動を与えない
- コード部分を持って電源コードを引き抜かない
- 長期間使用しない場合は、電源をOFFにし、コンセントから電源コードを抜く
- 使用する前に試測を行い、正常かつ安全に作動することを確認する

保管について

- 振動の激しい所に保管しない
- 湿気やほこりの多い所に保管しない
- 保管温度範囲外の場所に保管しない
- 塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれのない場所に保管する
- 長期間使用しなかった時は、使用する前に本機を熟知の方が試測を行い、正常かつ安全に作動することを確認する

廃棄について

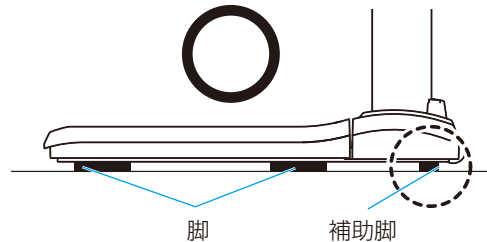
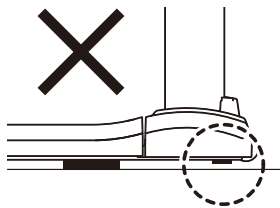
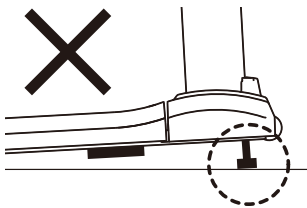
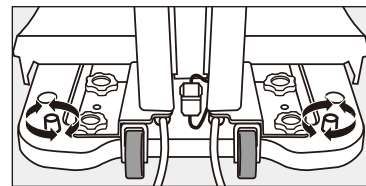
- 本機を廃棄処分される際には、各自治体の指導に従って処理をしてください。

お手入れについて

- 熱湯やベンジン、シンナー等は、使用しない
汚れたときは、水または家庭用洗剤を湿した布で拭き、その後乾いた布で拭き取ってください。

水平の確認

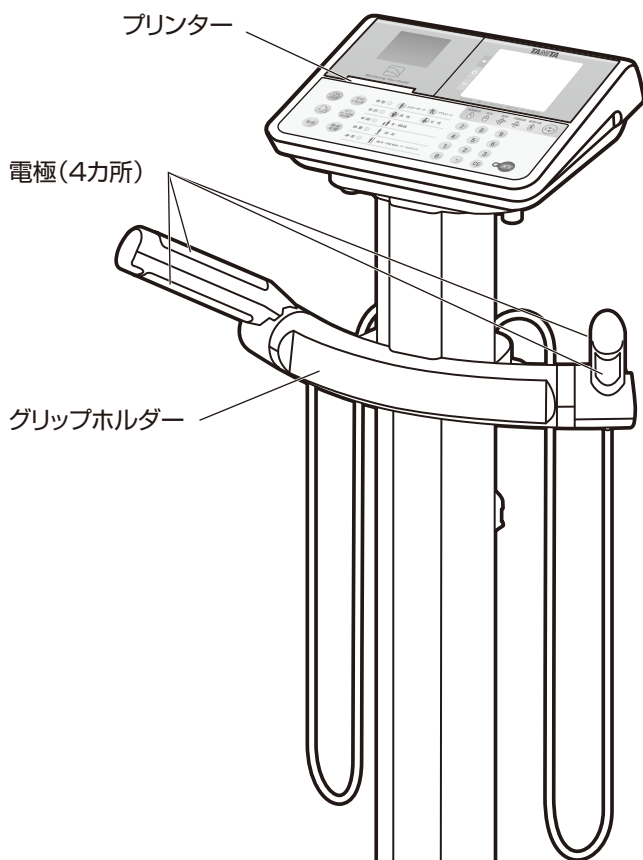
- 正確に測定するために、本機をできるだけ水平に設置してください。
- 脚(4ヶ所)および補助脚(2ヶ所)が浮かないように、ツマミを回して調整してください。



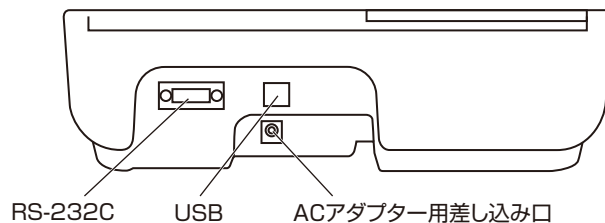
各部の名称と付属品

ご使用まえに

コントローラー

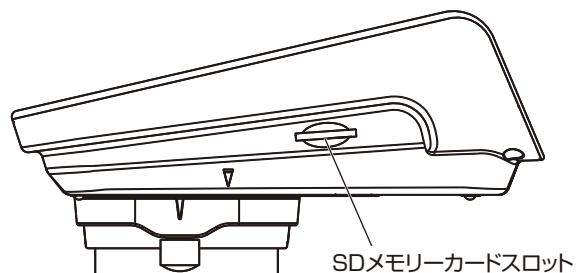


コントローラー背面



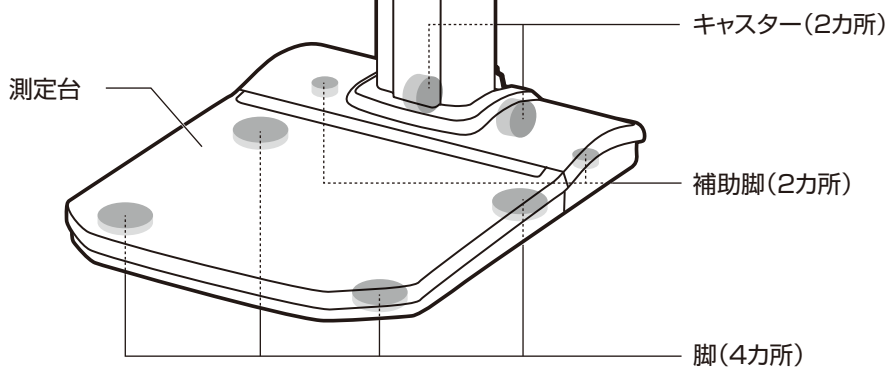
※RS-232CポートとUSBポートは、同時に使用することはできません。

コントローラー側面



※SDメモリーカードは別売りです。

測定台



付属品

取扱説明書(本書)



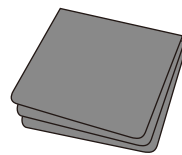
ACアダプター



電源コード



マット×3枚



取り付けネジ×4個

組み立てガイド

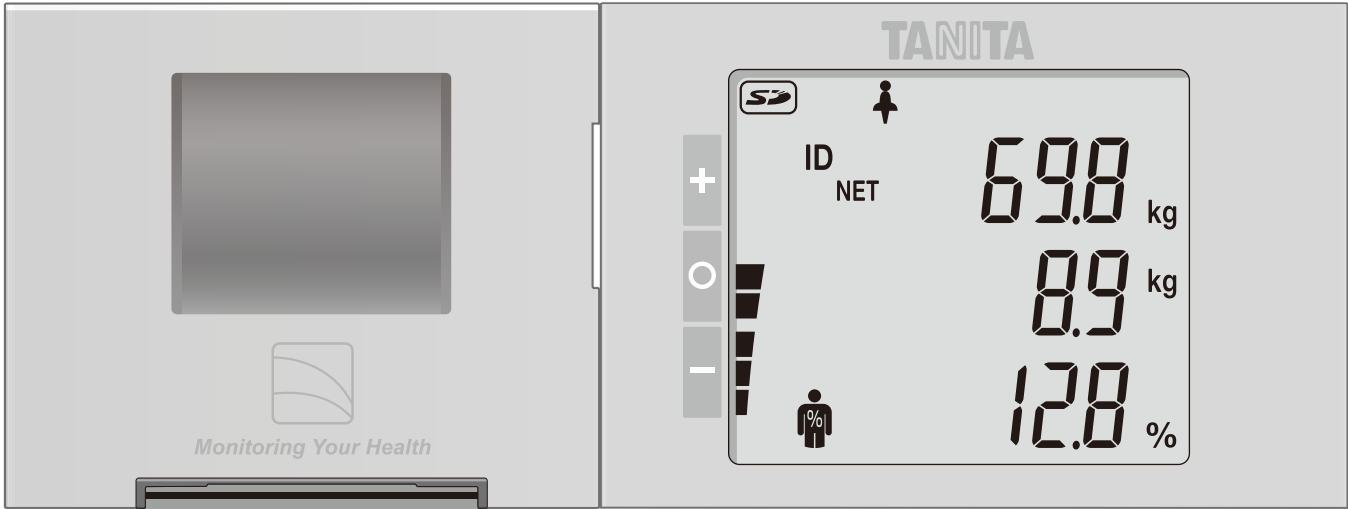
操作手順ガイド

保証書

プリンター用紙×1巻

※不足しているものがございましたら、弊社お客様サービス相談室までご連絡ください。(裏表紙参照)

画面とボタン



ボタンの意味

	電源をON/OFFにする。
	紙送りする。 (P.9)
	いろいろな機能を設定する。 (P.10)
	ゼロリセットする。
	着衣量を設定する。 ※
	体重計モードを選択する。 (P.21)
	入力した値を確定する。

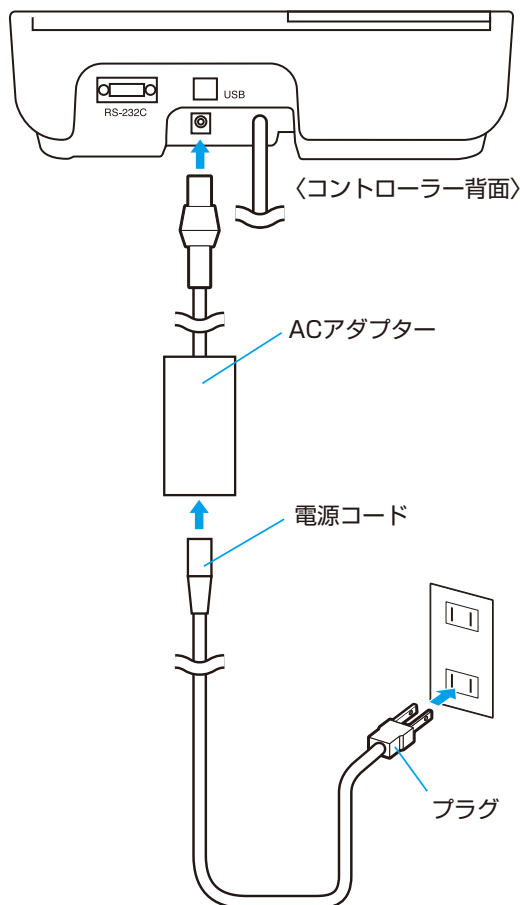
	ボタンを押すごとに、結果表示が切り替わります。 (P.20)
	体脂肪表示(%とkg) (P.20)
	筋肉表示(%とkg) (P.20)
	体水分表示(%とkg) (P.20)
	内臓脂肪レベル表示 (P.20)
	基礎代謝量表示 (P.20)

測定	お乗りください	測定台に乗るタイミングをガイドします。
体型	スタンダード アスリート	体型で「スタンダード」か「アスリート」のどちらかを選択します。
性別	男性 女性	性別で「男性」と「女性」のどちらかを選択します。
年齢	6 - 99	年齢は6才から99才までの範囲で入力できます。
身長	90.0 - 249.9 cm	身長は90.0~249.9cmの範囲で入力できます。
		SDメモリーカードが挿入されているとき、アイコンが表示されます。

※PT(プリセット風袋引き):事前に把握している重量を差し引いて正味量をはかることができます

電源の接続 / マットのセット

電源の接続



1 ACアダプターと電源コードを接続し、ACアダプターをコントローラーのジャックに差し込んでください。

2 電源コードのプラグ側をコンセントに差し込んでください。

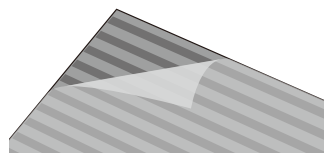
⚠ 警告

感電の原因となることがありますので、濡れた手でACアダプターやプラグを抜き差ししないでください。

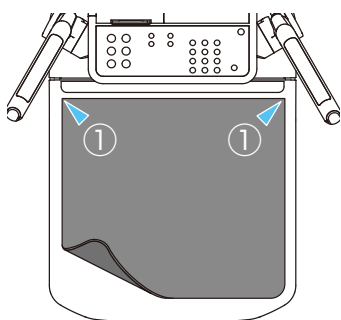
マットのセット

お知らせ

本機は靴を履いたまま測定することができますが、付属のマットをご使用いただくと滑りにくくなります。また測定台に傷がつくことを防止できます。



1 裏面の保護シートをはがします。



2 ①の角を合わせて、測定台にマットを貼ります。

お知らせ

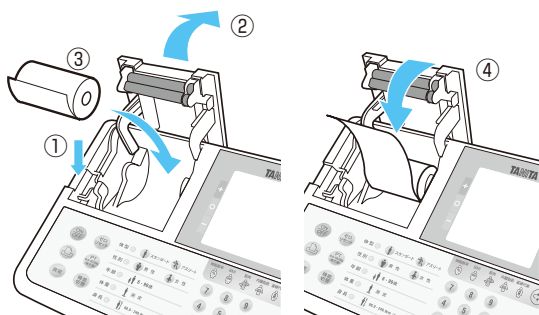
毎日測定を行う環境の場合は、1カ月を目安にマットを交換してください。

ご不明な点は、弊社お客様サービス相談室(裏表紙参照)にお問い合わせください。

プリンター用紙のセット

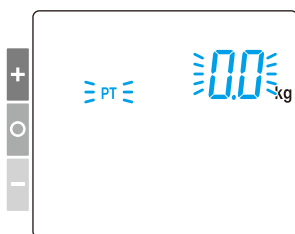
※画面のイラストは、各種の設定に応じて一部異なります。

プリンター用紙のセット



1

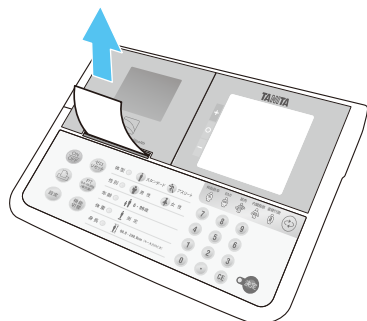
- ①電源OFFの状態、
コントローラー左側面のレバーを押します。
- ②プリンターカバーを開けます。
- ③プリンター用紙をセットします。
プリンター用紙は、接着糊を剥がし、
約10cmほど引き出してください。
- ④プリンターカバーを戻します。



2

- ② **ON/OFF** を押し、電源を入れます。

全点灯表示後、
00kg が表示されます。
プリンターカバーが開いた状態で電源を入れると
COPE n が表示されます (P.25)。



3

- ③  を押します。

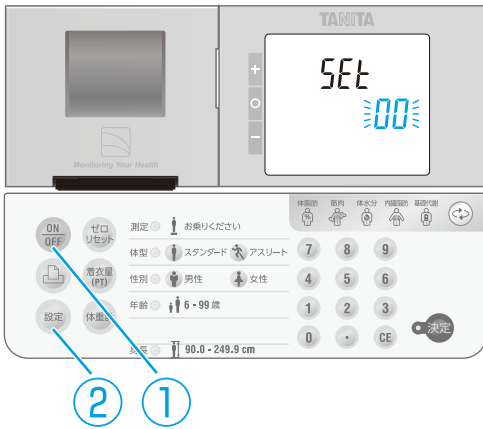
プリンター用紙が自動で切れ、セットが完了します。

プリンターのオートカットが 1:on の場合 (P.11)。

いろいろな設定

入力を間違えた場合は **CE** で戻ります

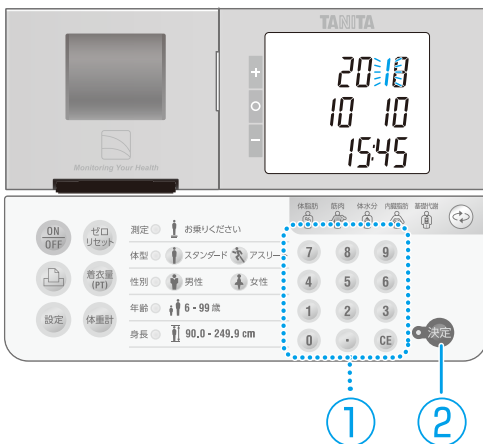
設定開始



- 1 ① **ON/OFF** で電源を入れます。**00kg**が表示されます。
- 2 ② **設定** を押すと、**5Et**が表示され、設定モードになります。
再度②を押すと、着衣量の画面に戻ります。
設定項目リスト

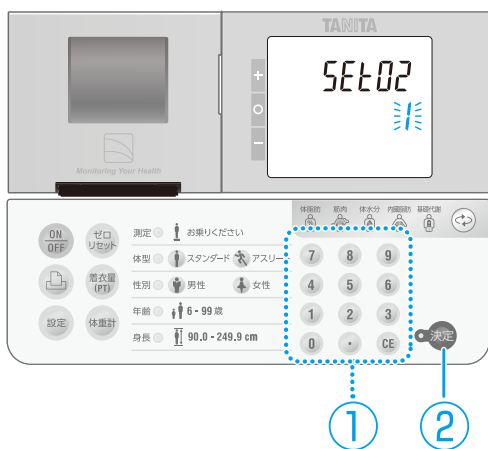
No.	設定内容	出荷時設定	詳細ページ
0	ソフトウェアバージョン確認	—	—
1	日付と時刻	2018年1月1日 00:00	P.10
2	プリンターの自動印刷枚数 0:0枚 1:1枚 2:2枚 3:3枚	1:1枚	P.11
4	プリンターのオートカット 0:OFF 1:on	1:on	P.11
5	ピープ音 0:OFF 1:on	1:on	P.11
7	ID番号 0:OFF 1:on	0:OFF	P.12
8	測定順序 0:体重を最初に測定 1:個人情報を最初に入力	0:体重を最初に測定	P.12
9	アスリート選択 0:無 1:有	1:有	P.12
10	身長入力時の桁数の設定 0:0.1cm単位 1:1cm単位	0:0.1cm単位	P.13
11	入力情報の自動確定時間 0:OFF 1~9:1~9秒	0:OFF	P.13
18	目標体脂肪率の入力 0:無 1:有	1:有	P.13
20	印刷パターンの設定 1:通常印刷 2:短縮印刷	1:通常印刷	P.14
21	結果表示の自動終了 0:OFF 1:on	0:OFF	P.14
45~69	印刷項目の選択	1:on	P.15
80	SDカード測定結果読み込み	—	—

日付と時刻(現在の日時を設定する)



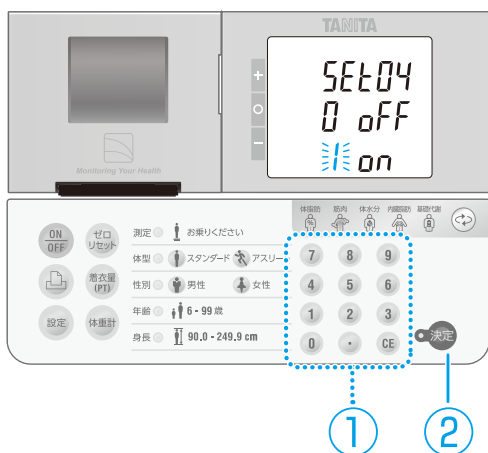
- 1 ①で「1」を入力します。
- 2 ②で決定します。
- 3 ①で日時を入力します。
例)2018年10月10日15時45分 → 1810101545
2018年1月1日から2099年12月31日までの範囲で入力
できます。
- 4 ②で決定します。

プリンターの自動印刷枚数(測定後、自動で印刷する枚数を設定する)



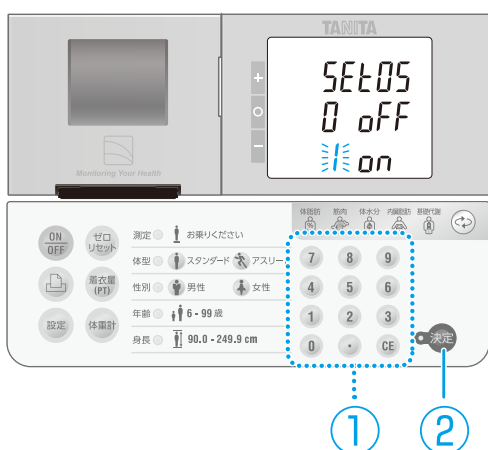
- ①で「2」を入力します。
- ②で決定します。
- ①で枚数を入力します。(0~3)
0:OFFに設定した場合は、印刷されません。
- ②で決定します。

プリンターのオートカット(印刷後に用紙を自動的にカットする)



- ①で「4」を入力します。
- ②で決定します。
- ①で有無を設定します。(0⇒無し、1⇒有り)
- ②で決定します。

ビープ音(操作時、測定時のビープ音を設定する)

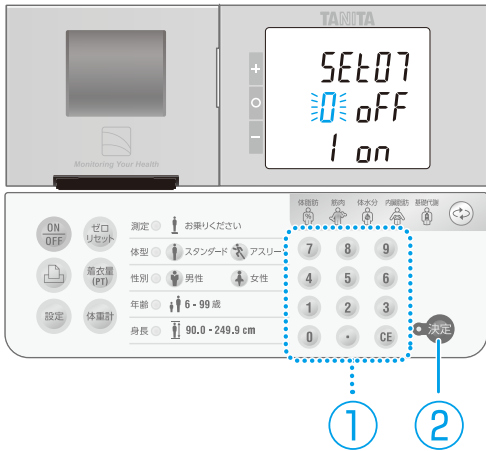


- ①で「5」を入力します。
- ②で決定します。
- ①で有無を設定します。(0⇒無し、1⇒有り)
- ②で決定します。

いろいろな設定 (つづき)

入力を間違えた場合は **CE** で戻ります

ID番号



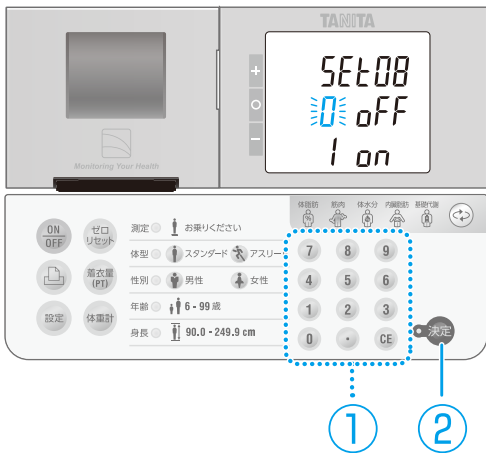
- ①で「7」を入力します。
- ②で決定します。
- ①で有無を設定します。(0⇨無し、1⇨有り)
- ②で決定します。

測定順序

測定順序を選択できます。

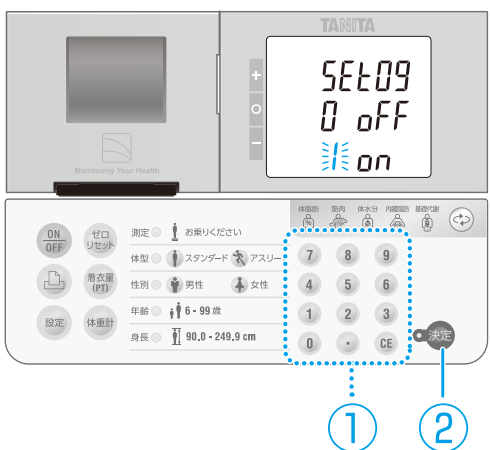
0 の場合(出荷時設定)、体重測定を行ってから個人情報を入力します。

1 の場合、個人情報を入力してから体重、体組成を測定します。



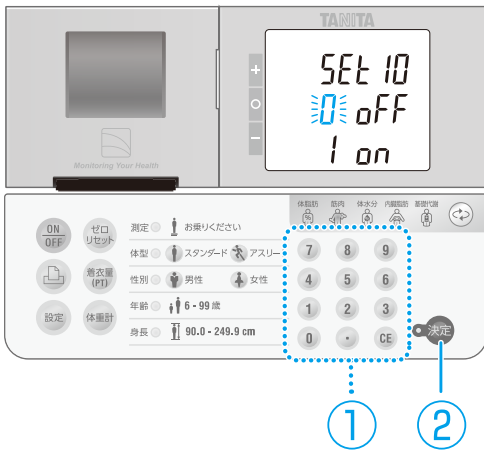
- ①で「8」を入力します。
- ②で決定します。
- ①で選択します。
(0⇨個人情報の入力→体重測定→体組成測定
1⇨体重測定→個人情報の入力→体組成測定)
- ②で決定します。

アスリート選択(体型の設定) P.18)



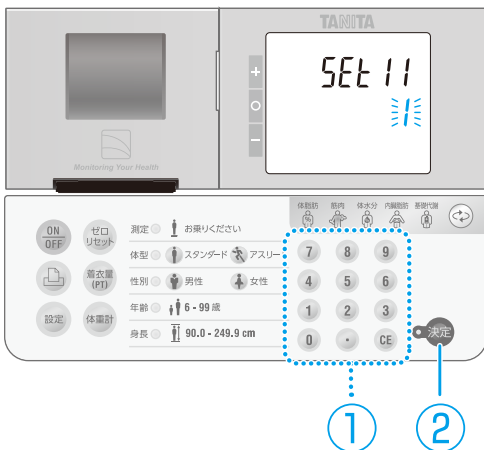
- ①で「9」を入力します。
- ②で決定します。
- ①で有無を設定します。(0⇨無し、1⇨有り)
0:OFFに設定した場合は、体型の選択をスキップし、「スタンダード」に固定されます。
- ②で決定します。

身長入力時の桁数の設定



- 1 ①で「10」を入力します。
- 2 ②で決定します。
- 3 ①で単位を設定します。
(0 ⇨ 0.1cm単位、1 ⇨ 1cm単位)
- 4 ②で決定します。

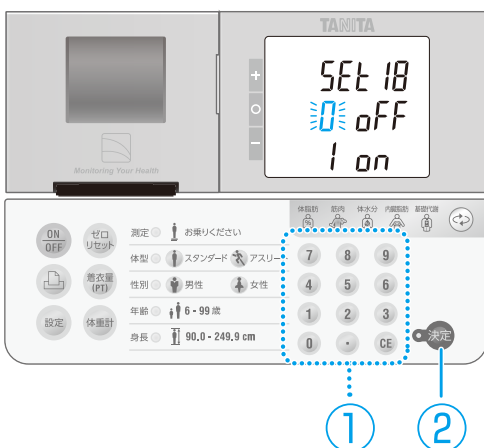
入力情報の自動確定時間(各設定時に数値入力後、決定を押さずに自動的に入力値を確定する機能)



- 1 ①で「11」を入力します。
- 2 ②で決定します。
- 3 ①で秒数を設定します。(0~9)
- 4 ②で決定します。

- ・0秒に設定した場合は、入力値を自動で確定しません。
- ・1~9秒に設定した場合は、各設定時に数値を入力し、設定した秒数が経過すると自動的に数値が確定します。

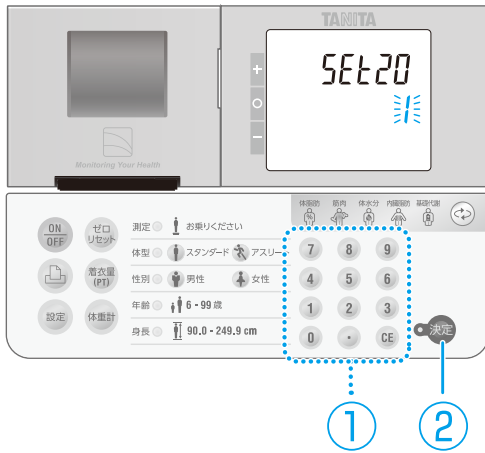
目標体脂肪率の入力



- 1 ①で「18」を入力します。
- 2 ②で決定します。
- 3 ①で目標体脂肪率の入力の有無を設定します。
(0⇨無し、1⇨有り)
- 4 ②で決定します。

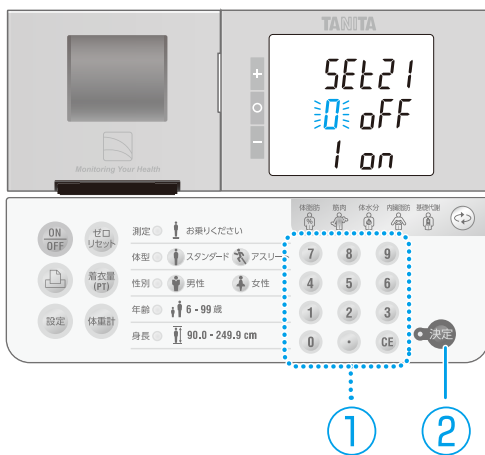
いろいろな設定 (つづき)

印刷パターンの設定(通常印刷 / 短縮印刷) P.16)



- 1 ①で「20」を入力します。
- 2 ②で決定します。
- 3 ①で印刷パターンを設定します。
(1 ⇨ 通常印刷、2 ⇨ 短縮印刷)
- 4 ②で決定します。

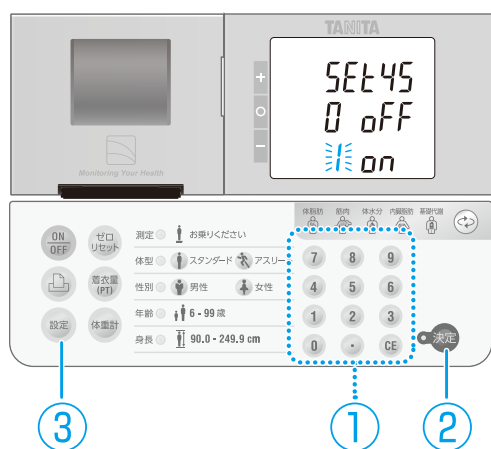
結果表示の自動終了(体組成測定後、測定台から降りた際に、自動的に次の測定に進む機能)



- 1 ①で「21」を入力します。
- 2 ②で決定します。
- 3 ①で有无を設定します。(0 ⇨ 無し、1 ⇨ 有り)
1:onに設定した場合は、測定終了後に自動的に次の測定に進みます。
- 4 ②で決定します。

入力を間違えた場合は **CE** で戻ります

印刷項目の選択



- 1 ①で下表より設定を変更したい項目の番号を入力します。(45~69)
- 2 ②で決定します。
- 3 ①で有无を設定します。(0⇨無し、1⇨有り)
- 4 ②で決定します。
- 5 各種設定が終了し、
③を押すと設定モードは終了します。

使
い
か
た

印刷項目と設定番号

設定No.	印字項目	入力可能数字
68	タニタロゴ	"0 oFF, 1 on"
45	脂肪量	"0 oFF, 1 on"
46	除脂肪量	"0 oFF, 1 on"
47	筋肉量	"0 oFF, 1 on"
69	筋肉率	"0 oFF, 1 on"
48	体水分量	"0 oFF, 1 on"
59	体水分率	"0 oFF, 1 on"
49	推定骨量	"0 oFF, 1 on"
50	基礎代謝量	"0 oFF, 1 on"
52	内臓脂肪レベル	"0 oFF, 1 on"
54	BMI	"0 oFF, 1 on"
55	ローレル指数	"0 oFF, 1 on"
56	標準体重	"0 oFF, 1 on"
57	肥満度	"0 oFF, 1 on"
58	体脂肪率標準範囲	"0 oFF, 1 on"
60	体脂肪率グラフ	"0 oFF, 1 on"
61	BMIグラフ	"0 oFF, 1 on"
62	内臓脂肪レベルグラフ	"0 oFF, 1 on"
63	筋肉量グラフ	"0 oFF, 1 on"
64	基礎代謝レベルグラフ	"0 oFF, 1 on"
66	体型判定	"0 oFF, 1 on"
67	インピーダンス情報、接触状態	"0 oFF, 1 on"

お知らせ

設定45~69は、印刷項目の設定になります。

印刷パターンの設定で通常印刷が選択されているとき、これらの設定で、個々の印刷のON/OFFを選択できます。

印刷パターンの設定で短縮印刷が選択されているとき、これらの設定は反映されません。

設定 をもう一度押すと、測定画面に戻ります。

印刷項目内容一覧

- 各測定モード、設定内容により、下表の内容が印刷されます。
- 体組成計モードにおける通常印刷時は、一部の項目に関して設定により印字を消すことが可能です(参考P.15)。

【印刷項目プリセット内容一覧】

印字項目	体組成計通常印刷			体組成計短縮印刷			体重計
	スタンダード	アスリート	小児	スタンダード	アスリート	小児	
タニタロゴ	○	○	○	●	●	●	●
カテゴリーネーム	●	●	●	●	●	●	●
機種番号	●	●	●	●	●	●	●
日時	●	●	●	●	●	●	●
氏名	●	●	●	●	●	●	●
ID	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1
体型	●	●	—	●	●	—	—
性別	●	●	●	●	●	●	—
年齢	●	●	●	●	●	●	—
身長	●	●	●	●	●	●	—
着衣量(PT)	●	●	●	●	●	●	●
体重	●	●	●	●	●	●	●
体脂肪率	●	●	●	●	●	●	—
脂肪量	○	○	○	—	—	—	—
除脂肪量	○	○	○	—	—	—	—
筋肉量	○	○	○	—	—	—	—
筋肉率	○	○	○	—	—	—	—
体水分量	○※2	○※2	○※2	—	—	—	—
体水分率	○※2	○※2	○※2	—	—	—	—
推定骨量	○	○	○	—	—	—	—
基礎代謝量	○	○	—	—	—	—	—
内臓脂肪レベル	○	○	—	—	—	—	—
BMI	○	○	○	●	●	●	—
ローレル指数	—	—	○	—	—	●	—
標準体重	○	—	—	—	—	—	—
肥満度	○	—	—	—	—	—	—
体脂肪率標準範囲	○	○	○	—	—	—	—
目標体脂肪率	○※3	○※3	○※3	○※3	○※3	○※3	—
体脂肪率グラフ	○	○	○	—	—	—	—
BMIグラフ	○	○	—	—	—	—	—
内臓脂肪レベルグラフ	○	○	—	—	—	—	—
筋肉量グラフ	○	○	—	—	—	—	—
基礎代謝レベルグラフ	○	○	—	—	—	—	—
体型判定	○	○	—	—	—	—	—
インピーダンス情報、接触状態	○	○	○	●	●	●	—

●の項目は常時印刷されます。

○の項目は設定により印刷の有無の選択が可能です。

※1:ID機能が有効でIDが入力されていれば印刷されます。

※2:体水分率計算エラー時は印刷されません。

※3:目標体脂肪率の入力の設定が1:onで、目標脂肪率が入力されていれば印刷されます。

いろいろな設定 (つづき)

体組成計<通常印刷>

体重

測定した体重です。

体脂肪率

体重に占める脂肪の割合を示したものです。

脂肪量

からだの脂肪分だけの重さを表したものです。

除脂肪量

体重から脂肪の重さを除いた、脂肪以外の部分(筋肉、水分、骨など)の重さです。

筋肉量/筋肉率

脂肪量と骨塩量を除く組織量のことです。本機で表示される筋肉量は、骨格筋、平滑筋(内臓など)と体水分量を含んだ値です。

体水分量/体水分率

からだの水分量のことです。血液やリンパ液、細胞間液、細胞内液などで構成されます。

推定骨量

骨全体に含まれる骨塩量を意味します。

基礎代謝量

生きていくために最低限必要なエネルギーのことです。本機では基礎代謝基準値の年代ごとの平均値と統計的分布に基づいて基礎代謝を「燃えにくい-標準-燃えやすい」で表示します。

※参考:「日本人の食事摂取基準」2015年版

※17才以下は表示されません。

内臓脂肪レベル

内臓脂肪は腹筋の内側についた脂肪のことです。見た目ではわかりにくいものです。内臓脂肪レベルの推移を長期的にとらえ、健康管理にお役立てください。

※17才以下は表示されません。

BMI

「体重(kg)/身長(m)²」で計算されます。疾病が少ないのは「22」とされています。

標準体重

BMIが22になる値を標準体重としています。

※17才以下は表示されません。

TANITA	
体組成計	
DC-13C	
2018/04/01 (日) 10:10	
氏名	
入力項目	
ID	0000000000000001
体型モード	スタンダード
性別	男性
年齢	37 才
身長	170.3 cm
着衣量 (PT)	1.0 kg
測定結果	
体重	69.8 kg
体脂肪率	12.8 %
脂肪量	8.9 kg
除脂肪量	60.9 kg
筋肉量	57.7 kg
筋肉率	82.7 %
体水分量	45.8 kg
体水分率	65.6 %
推定骨量	3.2 kg
基礎代謝量	1693 kcal
内臓脂肪レベル	7
BMI	24.1
標準体重	63.8 kg
肥満度	9.4 %
体組成計標準印刷	
11.0 ~ 21.9 %	
7.5 ~ 17.1 kg	
目標体脂肪率	
目標体脂肪率	20 %
判定	
◇体脂肪率	判定
やせ 標準 軽肥満 肥満	
◇BMI	
やせ 標準 肥満1 肥満2	
◇内臓脂肪レベル	
標準 やや過剰 過剰	
◇筋肉量	
少 平均 多	
◇基礎代謝レベル	
燃えにくい 標準 燃えやすい	
◇体脂肪率と筋肉量による体型判定	
☆筋肉質☆	
◇インピーダンス情報	
* 6.25kHz	50kHz
577.9	497.5 R
-34.1	-51.0 X

氏名欄

必要に応じて手書きでご記入ください。

ID

ID有に設定すると印刷されます。(初期設定はID無しです。)

肥満度

(体重)-(標準体重)
(標準体重) ×100で計算した値です。

※17才以下は表示されません。

目標体脂肪率

測定者が設定した目標とする体脂肪率です。

インピーダンス情報

リアクタンス/レジスタンス情報が印刷されます。(測定結果の判定を左右するものではありません。)

接触状態検知マーク

測定姿勢が正しくない場合は印字されます。結果は参考値としてご使用ください。

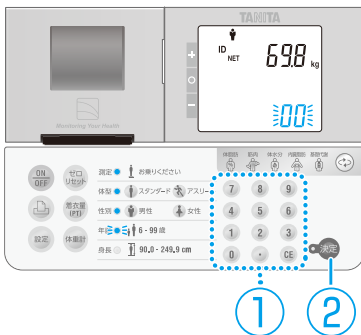
体組成計<短縮印刷>

TANITA	
体組成計	
DC-13C	
2018/04/01 (日) 10:10	
氏名	
入力項目	
ID	0000000000000001
体型モード	スタンダード
性別	男性
年齢	37 才
身長	170.3 cm
着衣量 (PT)	1.0 kg
測定結果	
体重	69.8 kg
体脂肪率	12.8 %
BMI	24.1
目標体脂肪率	
目標体脂肪率	20 %
◇インピーダンス情報	
6.25kHz	50kHz
577.9	497.5 R
-34.1	-51.0 X

体重計

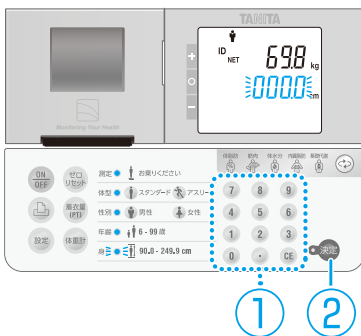
TANITA	
体組成計	
DC-13C	
2018/04/01 (日) 10:10	
氏名	
入力項目	
ID	0000000000000001
着衣量 (PT)	1.0 kg
測定結果	
体重	69.8 kg

年齢の設定



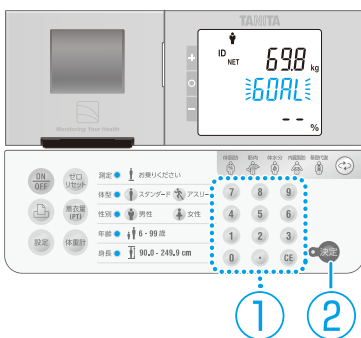
- 1 ①で年齢を入力します。(6~99)
- 2 ②で決定します。⇒「身長」が点滅します。

身長の入力



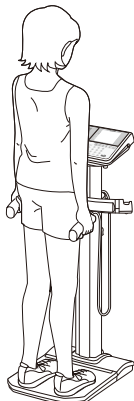
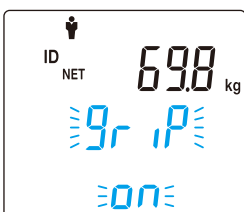
- 1 ①で身長を入力します。(90.0~249.9cm)
- 2 ②で決定します。
「身長入力時の桁数の設定」(☞P.13)で選択された桁数で入力します。

目標体脂肪率の入力



- 1 ①で目標体脂肪率を入力します。(4~55%)
- 2 ②で決定します。
「目標体脂肪率の入力」(☞P.13)が0:OFFに設定されている場合は、目標体脂肪率の入力をスキップします。

体組成の測定



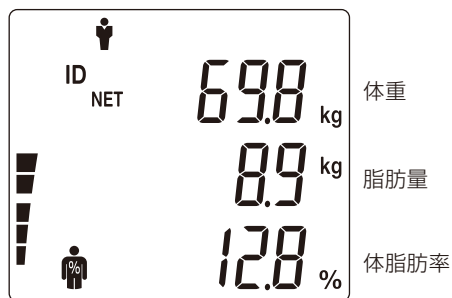
個人の情報が全て入力されると、体組成の測定を開始します。「Gr IP」が表示されたら両手でグリップを握ります。測定中は動かないようにしてください。

「000000」が消えたら測定が終了し、測定結果が表示されます。

「プリンターの自動印刷枚数」(☞P.11)が1:1枚/2:2枚/3:3枚に設定されている場合は、測定終了後、自動で結果が印刷されます。

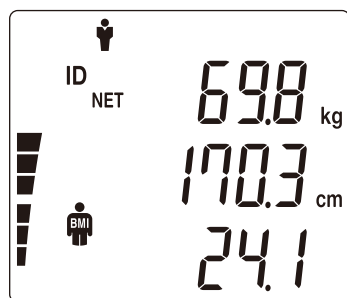
はかりかた 体組成計として使う (つづき)

測定結果の表示

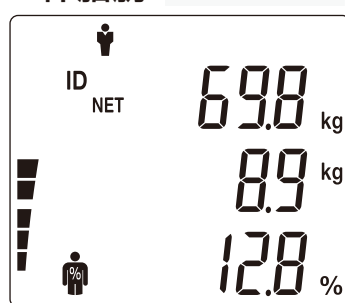


- 1** 測定結果を表示します。
⇨自動的に印刷されます。
(「プリンターの自動印刷枚数」が0枚以外に設定されている場合)
測定結果表示中に、を押すと、表示される内容が順次変わります。

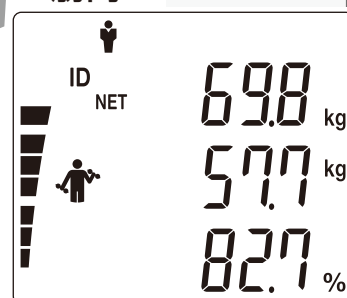
6. BMI



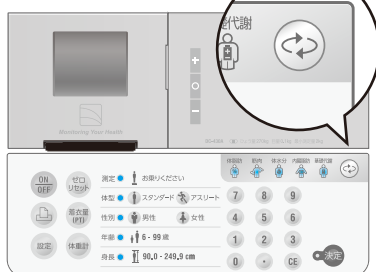
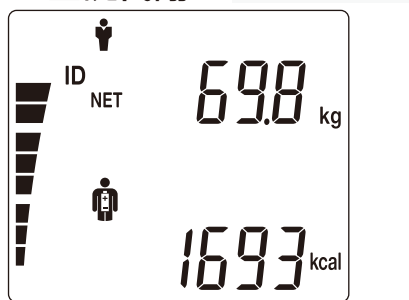
1. 体脂肪



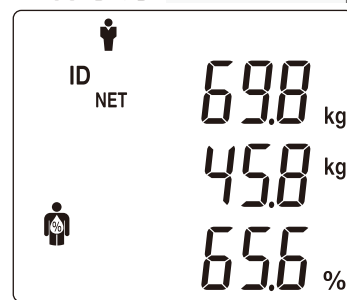
2. 筋肉



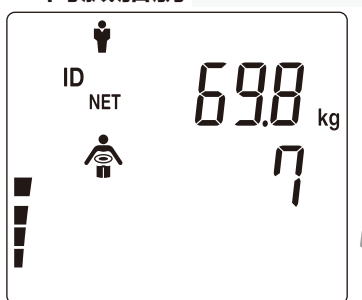
5. 基礎代謝量



3. 体水分



4. 内臓脂肪



- 2** 測定台から降りて、
 決定 を押してください。
次の測定に進みます。

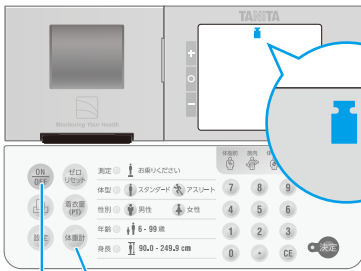
「結果表示の自動終了」(P.14)が1:onに設定されている場合は、自動的に次の測定に進みます。

はかりかた


体重計として使う

CE を押し、1つ前のステップに戻ります。「入力情報の自動確定時間」(P.13)に応じて、自動的にステップが進みます。

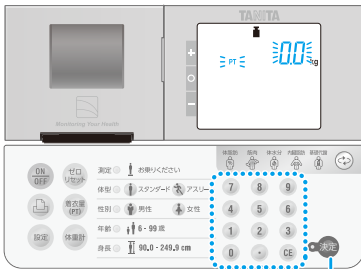
モード切替



① ②

- ① ON/OFF で電源を入れます。
- ② 体重計 を押し、体重計モードになります。
画面に  が点灯します。
体重計 を押しごとに体組成計モードと体重計モードが切り替わります。

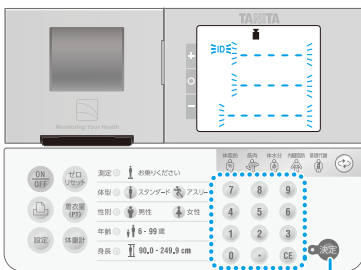
着衣量の設定



① ②

- ① で着衣量を入力します。(0.0~10.0kg)
- ② で決定します。

ID番号の設定



① ②

- ① でID番号を入力します。(16桁まで)
 - ・「ID番号」(P.12)が0:OFFに設定されている場合は、スキップします。
 - ・16桁まで入力でき、途中で決定を押しと確定されます。
 - ・任意の番号を入力することもでき、その場合次の測定者はその番号から1つ繰り上がります。
- ② で決定します。

体重をはかる



- ① 「STEP on」が表示されたら、測定台に乗ります。
着衣量を設定していると「NET」が表示されます。
⇒体重が確定すると「体型」が点滅します。

- ② 体重が安定すると左の画面のように変わり、測定結果が表示されます。
「プリンターの自動印刷枚数」(P.11)が1:1枚/2:2枚/3:3枚に設定されている場合は、測定終了後、自動で結果が印刷されます。



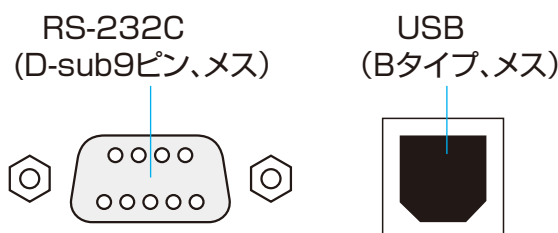
- ③ 測定台から降りてください。次の測定に進みます。

パソコンと接続するとき

■通信仕様

通信規格	EIA RS-232C準拠
通信方式	調歩同期式
信号速度	9600bps
データビット長	8ビット
パリティ	なし(NONE)
ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

- コントローラーの背面にRS-232Cポート(D-sub9ピン、メス)とUSBポート(Bタイプ、メス)が付いています。
- パソコンと接続する場合は、それぞれに合わせたケーブルで接続してください。
- ケーブルは付属しておりませんので、別途お買い求めください。
RS-232Cストレートケーブル：Dサブ9ピン(オス)-Dサブ9ピン(メス)
USBケーブル：Aタイプ(オス)-Bタイプ(オス)
※USB1.1、USB2.0規格どちらでも可。



- USBポートにより通信する場合は、ご使用のパソコンによってはUSBドライバのインストールが必要となる場合があります。
USBドライバは、タニタホームページ (<http://www.tanita.co.jp>) よりダウンロードできます。

お知らせ

- RS-232CポートとUSBポートは同時に使用することができません。

■送信データ

送信データは、受信側(パソコン等)の状態にかかわらず測定直後に出力されます。このため測定以前に受信側が、常に受信可能な状態になっている必要があります。

コントローラーにSDメモリーカードをセットしておく、CSVファイルが保存されます。詳しくは、別紙「シリアル出力説明書」をタニタホームページ(<http://www.tanita.co.jp>)よりダウンロードしてご確認ください。

●PCモードで使用する場合は、別紙「PCモード説明書」をタニタホームページ(<http://www.tanita.co.jp>)よりダウンロードしてご確認ください。

※PCモードとは、パソコン側より個人データを送信し、測定結果を受信できるモードのことです。

データフォーマット

測定データは、以下のようなフォーマットで出力されます。

●各データはカンマ(,)で区切られます。

●ターミネーター(データの最後)は、CR(ASCIIコード ^{ゼロ} 0DH)、LF(ASCIIコード ^{ゼロ} 0AH)です。

以下は参考資料であり、実際はここに記載されていないデータも出力されます。

また、一部、桁数を省略しております。

出力例

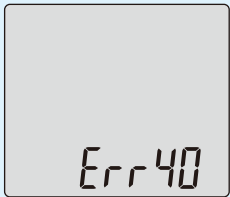

型番		IDナンバー		日付		時間	
MO	XXXXXX	ID	X~X	DT	yyyy/mm/dd	TI	hh:mm
体型		性別		年齢		身長	
Bt	0または2	GE	1または2	AG	XX	Hm	XXX.X
着衣量(風袋量)		体重		体脂肪率		脂肪量	
Pt	XX.X	Wk	XXX.X	FW	XX.X	fW	XXX.X
除脂肪量		筋肉量		筋肉率		筋肉スコア ^{*1}	
MW	XXX.X	mW	XXX.X	mw	XX.X	sW	1~16
推定骨量		体水分量		体水分率		BMI	
bW	XXX.X	wW	XXX.X	ww	XX.X	MI	XXX.X
標準体重 ^{*1}		肥満度 ^{*1}		内臓脂肪レベル ^{*1}		基礎代謝量 kJ ^{*1}	
Sw	XXX.X	OV	XXX.X	IF	1~59	rb	XXXX
基礎代謝量 ^{*1}		基礎代謝判定 ^{*1}		ローレル指数 ^{*2}		目標体脂肪率	
rB	XXXX	rJ	1~16	RO	XXX.X	gF	4~55
両手間インピーダンス情報							
UA	XXX.X	VA	XXX.X	RA	XXX.X	XA	XXX.X
接触状態		チェックサム					
CC	0または1	CS	XX				

※1:17才以下の設定で測定した場合、この項目は出力されません。

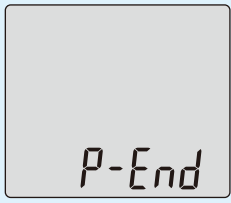

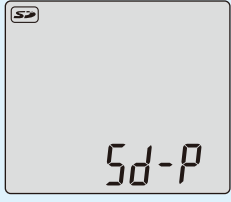

※2:18才以上の設定で測定した場合、この項目は出力されません。

故障かな？

■修理を依頼される前、次のことをご確認ください。

	症 状	ご確認ください
はかりかた	インピーダンス 測定エラー 	●設定の入力内容、または測定前の入力内容を確認してください。
	ゼロ点異常 	●電源を切り、測定台に乗っているものをおろしてから、電源を入れ直し、再度測定し直してください。
	体重値が安定しない	●振動がある場所に設置していませんか？ ●測定台がかたむいていませんか？ ⇒水平にしてください(☞ P.5)。 ●測定台の隙間に物がはさまっていませんか？ ⇒はさまっている物を取り除いてください。
コントローラー	電源を入れても何も表示されない	●電源コードやACアダプターが正しく接続されているか確認してください。
	- - - - が表示される	●測定する重量が、測ることのできる範囲をこえています。
	「○」が表示される	●測定姿勢が正しくない可能性があります。結果は参考値としてご使用ください(☞ P.4)。 ●手のひらが乾燥している可能性があります。水などで濡らしてから再度測定してください。

必要なとき

	症 状	ご確認ください
プリンター	プリンター用紙紙切れ 	<ul style="list-style-type: none"> ●プリンター用紙が入っていません。 ⇒用紙を補給してください(☞ P.9)。 ⇒プリンターを使用しない場合は、CE を押し、印刷枚数の設定をやり直してください(☞ P.11)。
	プリンターカバーオープン 	<ul style="list-style-type: none"> ●プリンターカバーが開いています。 ⇒きちんと閉じてください。 ⇒用紙が斜めになっていないかご確認ください。
	プリンター用紙が出てこない	設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ●印刷枚数の設定が0になっていませんか？ ⇒1～3枚を設定してください(☞ P.11)。 ●プリンターが故障している可能性があります。 ⇒お買い求め先にご連絡ください。
	プリンター用紙は出てくるが、印字されない	<ul style="list-style-type: none"> ●プリンター用紙が裏になっていませんか？ ⇒正しくセットしてください(☞ P.9)。 ●プリンターが故障している可能性があります。 ⇒お買い求め先にご連絡ください。
	SDメモリーカードエラー 	<ul style="list-style-type: none"> ●SDメモリーカードがロックされているおそれがあります。 ⇒ロックを解除してからご使用ください。
SDメモリーカード	SDメモリーカード、ドライブエラー 	<ul style="list-style-type: none"> ●SDメモリーカードの容量が不足しています。 ●SDメモリーカードが故障しているおそれがあります。 ⇒新しいSDメモリーカードに交換してください。 ●SDメモリーカードドライブにエラーが発生したおそれがあります。 ⇒いったん電源を切り、電源を入れ直してください。 ⇒SDメモリーカードをフォーマットしてください。 ⇒本機が故障しているおそれがあります。 お買い求め先にご連絡ください。

お知らせ 上記以外のエラー表示が出た場合は、一度電源を切り、再度測定してください。
 何度も同じエラー表示が出る場合は弊社お客様サービス相談室までご連絡ください。
 (裏表紙参照)

製品仕様

名 称		デュアル周波数体組成計 DC-13C
体重測定部	最大計量	200kg (風袋量を含む)
	最小表示	2.0~100.0kgまで0.1kg 100.0~200.0kgまで0.2kg
	測定範囲	2.0~200.0kg
インピーダンス測定部	測定方式	デュアル周波数BIA法
	測定周波数	6.25kHz、50kHz
	測定電流	500 μ A以下
	電極材質	ABSメッキ
	測定部位	全身
	測定範囲	150.0~1,500.0 Ω (0.1 Ω 単位)

測定モード別 仕様		体組成計モード	体重計モード
入力項目	着衣量(PT)	0.0~10.0kg (0.1kg単位)	
	ID	0000000000000000~9999999999999999 (16桁)	
	体型	スタンダード / アスリート	—
	性別	男性 / 女性	—
	年齢	6~99才(1才単位)	—
	身長	90.0~249.9cm	—
	目標体脂肪率	4~55% (1%単位)	—
出力項目	体重	2.0~100.0kg (0.1kg単位) 100.0kg~200.0kg (0.2kg単位)	
	体脂肪率	3.0~75.0% (0.1%単位)	—
	脂肪量	0.1kg単位	—
	除脂肪量	0.1kg単位	—
	筋肉量	0.1kg単位	—
	筋肉率	0.1%単位	—
	体水分量	0.1kg単位	—
	体水分率	0.1%単位	—
	推定骨量	0.1kg単位	—
	基礎代謝量 ^{*1}	0~9999kcal/日 (1kcal/日単位)	—
	内臓脂肪レベル ^{*1}	1~59レベル (1レベル単位)	—
	BMI	0.1単位	—
	ローレル指数(17才以下)	0.1単位	—
	標準体重 ^{*1}	0.1kg単位	—
	肥満度 ^{*1}	0.1単位	—
	判定/グラフ	体脂肪率/BMI ^{*1} /内臓脂肪レベル ^{*1} /筋肉量 ^{*1} /基礎代謝レベル ^{*1} /体型判定 ^{*1}	—
	インピーダンス	リアクタンス、レジスタンス	—
接触状態 ^{*2}		—	

※1:17才以下の設定で測定した場合、この項目は表示、印字、出力されません。

※2:測定結果は参考値としてご使用ください。

その他仕様

外部インターフェース	RS-232Cポート (D-sub9ピン)、USBポート (Bタイプ)、SDメモリーカードスロット	
印刷方式	内蔵サーマルプリンター	
表示部	セグメントLCD	
入力方式	メンブレンスイッチ	
電源	100-240V~50/60Hz	
消費電流	0.3A以下	
使用条件	温度範囲	5~35 $^{\circ}$ C
	湿度範囲	30~80% (結露なきこと)
保管条件	温度範囲	-10~60 $^{\circ}$ C
	湿度範囲	10~90% (結露なきこと)
本体質量	14kg	

※デザインおよび仕様は予告なく変更する場合があります。

※SDメモリーカードおよびSDHCメモリーカード(32GBまで)互換、SDXCメモリーカードはご利用できません。

※SD、SDHCおよびSDXCはSDアソシエーションの商標です。SDロゴは、SD-3C、LLC.の登録商標です。

お知らせ

このはかりは取引証明以外用です。品物の売買取引や、公にその物の目方を証明する場合は、このはかりをご使用にならないでください。

重力補正について

お知らせ

本機は地球の重力差を補正し使用地域に合わせて正しい測定結果が得られるように調整されています。本機に貼ってある「使用地域」シールをご確認ください。
引っ越しなどにより、ご使用になる地域が変わりましたら、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。(裏表紙参照)

使用地域	含まれる都道府県
地域 1	北海道
地域 2	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
地域 3	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
地域 4	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
地域 5	沖縄

アフターサービスについて

1、保証書について

保証書は、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年です。

2、修理を依頼される時

●保証期間中は、弊社お客様サービス相談室にご連絡のうえ、本機に保証書を添えてお送りください。

●保証期間が過ぎているときは、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって本機の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

3、ご不明な点は弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

	販売元	株式会社	タニタ
	本社・お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2		
	製造元	株式会社	タニタ 秋田
	タニタ サービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1		
	ホームページアドレス		http://www.tanita.co.jp
お問い合わせ先	フリーダイヤル		0120-133821
	携帯電話からはフリーダイヤルにつながりません。 携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。		
	ナビダイヤル		0570-783551
	通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。		
	受付時間 / 9:00～18:00 (祝日を除く月～金)		